健診センター

健診センター長
田上　哲也

専門医資格等　日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医・指導医・近畿支部評議員
日本内分泌学会　内分泌代謝科(内科)専門医・指導医・教育責任者・評議員
日本甲状腺学会　専門医・評議員・理事
厚生労働省　臨床研修指導医
京都大学医学部　臨床教授・講師
京都大学　医学博士
専門分野　内科、内分泌・代謝
得意疾患　内分泌疾患、甲状腺疾患

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
副健診センター長	島　　伸子	日本内科学会　認定内科医 日本人間ドック学会　人間ドック健診認定医 日本医師会　認定産業医 日本消化器病学会　専門医 日本消化器内視鏡学会　専門医 日本ヘリコバクター学会　H.　pylori（ピロリ菌）感染症認定医 日本消化器がん検診学会認定医（胃）	消化器内科	消化器疾患 消化器内視鏡検査
医　　師	小見山麻紀	日本内科学会 認定内科医 日本人間ドック学会 人間ドック健診認定医 日本医師会 認定産業医 日本禁煙科学会 上級禁煙支援医師 FNAネットワーク協会 食生活アドバアイザー 静岡県立大学 非常勤講師 大阪医科大学 医学博士 Anglia Ruskin University 公衆衛生学修士	内科 予防医学	生活習慣病 禁煙支援
非常勤医師	前川　　高天	日本内科学会　認定内科医 日本消化器病学会　専門医 日本消化器内視鏡学会　専門医 日本ヘリコバクター学会　H.　pylori（ピロリ菌）感染症認定医 京都胃がん内視鏡検診運営委員会委員長	消化器内科	消化管疾患 消化器内視鏡検査

□ 診療科の特徴

食生活の乱れや過度の飲酒、運動不足、喫煙など不適切な生活習慣の積み重ねにより、高血圧や脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病が急激に増加しています。生活習慣病の多くは、自覚症状がほとんどないため、気付かないうちに動脈硬化が進行し、心筋梗塞や脳卒中などの重大な結果を招いてしまうことも少なくありません。生活習慣病は、まず予防すること、そして早期発見と早期治療が大切です。また、増加の一途をたどっている様々な臓器に発生する癌においても、予防や早期発見・早期治療が重要であることはいうまでもありません。京都医療センター健診センターは、生活習慣病や癌の早期発見に貢献しています。 特に、癌の全身検索に適しているPET-CT健診や、苦痛の少ない経鼻内視鏡を用いた胃がん検診などを行い、癌の早期発見に力を入れています。ご自身だけでなく、大切なご家族の健康を守るために、定期的に健診を受けられることをお勧めします。

□ 主な対象疾患

高度で贅沢な設備とスタッフ

京都医療センターは各種の高度専門医療施設に指定されていますので、それぞれの診療設備については高度かつ精密な検査機器が配備されています。また、各学会認定の専門医が多数常勤しており、専門的かつ高度な診断が可能となっています。当健診センターでは、最高の設備・スタッフを駆使することにより、みなさまに安心していただける健診を提供しています。

健診センター専用棟での迅速な健康診断

平成16年5月に完成した健診センター専用棟には、待合ロビー、診察室、心電図室、超音波検査室、肺機能検査室、X線一般撮影、内視鏡検査室がすべて完備されていますので、それぞれの検査・診察が効率的かつ迅速にすすめることが可能となっています。また、待ち時間の短縮など、受診されるみなさまのご負担をできるだけ軽減できるよう、常にこころがけていますので、是非ご利用いただきますよう職員一同お待ちしています。

１. より"迅速"に、より"的確"に

健診センター専用棟には、診察室、心電図、腹部超音波検査装置、X線撮影装置、上部消化管内視鏡が完備されていますので、それぞれの検査を迅速かつ効率的にすすめることが可能になっています（コース、オプション内容によっては、中央診療棟での検査, 診察になります）。また、各学会の認定医・専門医が多数在籍していますので、より専門的で的確な診断が可能になっています。

２. "点"から"線"の健診

従来の、結果を眺めるだけの"点"の健診ではなく、継続的な健康管理に役立つ"線"の健診を目指しています。特にここ数年来問題視されているメタボリックシンドローム、喫煙関連疾患、ヘリコバクターピロリ菌感染症については、各診療科の専門外来と協力し、継続的な診療を受けていただけるよう心がけています。

３. より"確実"な早期発見

各領域の悪性疾患については、最近の低侵襲治療の発達で、その早期発見はより重要になっています。　また近年、がんに対する様々なリスクファクターが明らかにされており、これらのリスクを考慮したハイリスク検診の試みも始まっています。当健診センターでは、子宮がん検診に、子宮頚がんのリスクファクターとされるhuman papilloma virus (HPV)検査を、胃がん検診に血清ペプシノゲン/血中ヘリコバクターピロリ菌抗体検査を、前立腺癌にPSA測定を導入し、また、2014年10月からPETがん検診を開始し、各疾患の早期発見を目指しています。

４. より"楽"な検査

胃がんの早期発見には内視鏡検査（胃カメラ検査）の有用性が指摘されていますが、受診者にとっては、これまで"つらい"検査の一つでした。当健診センターでは極細径内視鏡による経鼻内視鏡検査を導入し、受診者にとって"つらい"検査から"楽な"検査への転換を図っています。

〈健診コース〉

<table>
<tr><td>基本コース</td><td rowspan="12">★基本コース（一般コース・脳ドック・レディースコース）に加えて、各種オプション（肺：胸部CT検査、婦人科：診察・US、乳がん：マンモグラフィなど）を受診者の希望に応じて実施しています。また、2014年度からPET健診を, 2015年度から胃がん健診を始めました。
★血液サラサラ健診
血液は体内に必要な栄養素, 酵素等を運び、老廃物を取り除く働きをします。
生活習慣病予防のために「血液サラサラ健診」を受けてみませんか？
★鼻から行う内視鏡
鼻から行う内視鏡をご存じですか？
経鼻内視鏡検査は、口からの検査に比べ検査時の吐き気、不快感が少ないものとなっています。</td></tr>
<tr><td>一般健診</td></tr>
<tr><td>脳ドック</td></tr>
<tr><td>レディース</td></tr>
<tr><td>オプション</td></tr>
<tr><td>脳オプション</td></tr>
<tr><td>動脈硬化オプション</td></tr>
<tr><td>血液サラサラ度オプション</td></tr>
<tr><td>骨粗鬆症オプション</td></tr>
<tr><td>各種がんオプション：肺, 前立腺, 乳腺, 子宮</td></tr>
<tr><td>PET健診</td></tr>
</table>

〈サリドマイド健診〉
先行の「全国のサリドマイド胎芽病患者の健康、生活実態に関する研究班」の研究成果を踏まえ、中年期を向かえた患者の今後の医療上・生活上の問題点を明確にし、有効な医療及び支援のあり方を検討する。また、外国での患者に対する医療の取組みに関する調査も進め、国際的な医療情報交換を推進し、患者に対する支援のあり方、取組みを世界的規模で検討していく。
京都医療センター健診センターでは、西日本居住者を対象に健診を実施している。

□ 診療実績（平成30年度）

〈受診者数〉

基本健診	一般健診	生活習慣病	脳ドック	レディース	PET検診	胃がん検診	サリドマイド健診	合計
2012年度	766	11	27	30	-	-	10	844
2013年度	802	6	34	16	-	-	8	866
2014年度	965	6	25	27	11	-	8	1042
2015年度	965	2	29	20	47	4	7	1074
2016年度	992	8	22	22	65	41	9	1159
2017年度	1069	-	25	21	79	70	8	1272
2018年度	1057	-	23	23	97	92	7	1299

オプション	脳	動脈硬化	血液流動性	骨粗鬆症
2012年度	118	94	36	101
2013年度	122	85	43	93
2014年度	144	135	88	135
2015年度	135	133	69	139
2016年度	144	133	72	123
2017年度	148	137	68	122
2018年度	144	123	63	114

がんオプション	肺がん	前立腺がん	乳がん	子宮がん
2012年度	48	161	183	140
2013年度	54	175	197	136
2014年度	76	207	221	138
2015年度	65	215	227	152
2016年度	82	219	212	146
2017年度	79	241	253	184
2018年度	77	208	243	194

胃がんリスク検診	A群	B群	C群	D群	E群（除菌後）	計	当院での除菌数
2014年度	616	88	56	9	168	937	102
2015年度	617	46	17	5	254	939	44
2016年度	549	45	42	60	311	1007	28
2017年度	554	49	51	72	341	1067	38
2018年度	593	38	43	57	394	1125	29

がん検診

上部消化管検査	内視鏡		内視鏡合計	透視	計	がん発見率（%）		
	経鼻	経口				内視鏡	透視	total
2013年度	244（0）	206（5）	450（5）	312（0）	762（0）	1.11	0.00	0.66
2014年度	389（1）	410（2）	799（3）	152（0）	951（3）	0.38	0.00	0.32
2015年度	458（0）	390（2）	848（2）	105（0）	953（2）	0.24	0.00	0.21
2016年度	541（1）	393（2）	934（3）	94（0）	1028（3）	0.32	0.00	0.29
2017年度	678（0）	425（5）	1103（5）	-	1103（5）	0.45	-	0.45
2018年度	702（1）	413（2）	1115（3）	-	1115（3）	0.27	-	0.27

大腸がん検診	便潜血検査		要精検者数	要精検率（%）	精検受診者数	精検受診率（%）	がん	がん発見率（%）
	件数	陽性数						
2013年度	781	73	73	9.3	37	50.7	2	0.26
2014年度	962	162	157	16.3	121	77.0	1	0.10
2015年度	995	145	140	14.9	100	71.4	5	0.50
2016年度	1034	128	117	11.3	75	64.1	4	0.39
2017年度	1077	121	117	10.9	80	68.4	2	0.19
2018年度	1075	108	95	8.8	55	57.9	2	0.19

前立腺がん検診	PSA		要精検者数	要精検率（%）	精検受診者数	精検受診率（%）	がん	がん発見率（%）
	件数	陽性数						
2015年度	215	8	8	3.7	6	75.0	1	0.50
2016年度	255	11	7	2.7	6	85.7	0	0.00
2017年度	241	15	8	3.3	8	100	2	0.83
2018年度	208	10	4	1.9	4	100	3	1.92

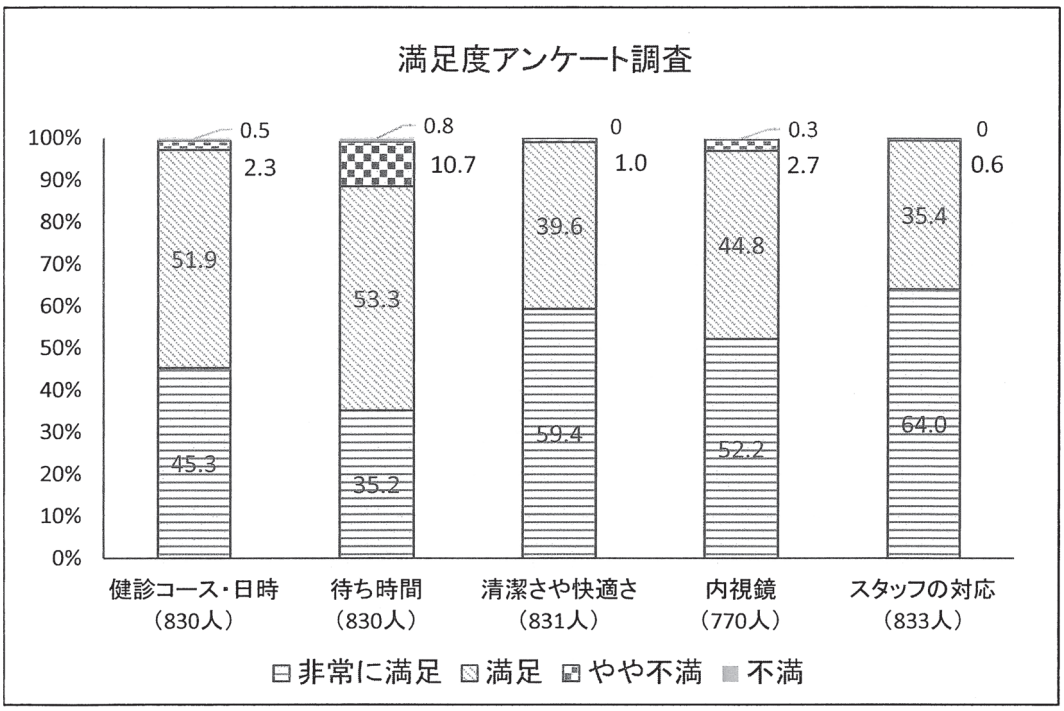
子宮がん検診	子宮頸部細胞診		要精検者数	要精検率（%）	精検受診者数	精検受診率（%）	がん	がん発見率（%）
	件数	陽性数						
2015年度	172	4	4	2.3	4	100	0	0.00
2016年度	173	3	3	1.7	3	100	1（CIN3）	0.58
2017年度	209	1	1	0.5	1	100	0	0.00
2018年度	221	1	1	0.5	1	100	0	0.00

乳がん検診	マンモグラフィー検査		要精検者数	要精検率（%）	精検受診者数	精検受診率（%）	がん	がん発見率（%）
	件数	陽性数						
2015年度	248	99	99	39.9	86	86.9	0	0.00
2016年度	239	69	69	28.9	50	72.5	1	0.42
2017年度	278	80	80	28.8	66	82.5	1	0.36
2018年度	270	51	50	18.5	40	80.0	1	0.37

PET検診	件数	陽性数
2014年度	11	0
2015年度	47	2（肺癌1、乳癌1）
2016年度	65	0
2017年度	79	0
2018年度	97	0

検診で発見された癌（まとめ）

	咽喉頭癌	食道表在癌	早期胃癌	十二指腸癌	大腸癌	乳癌	子宮癌	肺癌	前立腺癌	その他の癌
2013年度	1	1	5	0	2	0	0	0	0	0
2014年度	1	1	3	0	1	1	0	1	0	0
2015年度	0	1	2	0	5	1	0	1	1	白血病1
2016年度	0	0	3	2	4	1	1	0	0	0
2017年度	1	0	5	0	2	1	0	0	2	甲状腺2、膀胱1、胆嚢1、胸腺1
2018年度	0	0	3	0	2	1	0	1	4	胃神経内分泌腫瘍1



□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	島 伸子, 小見山 麻紀, 前川 高天, 田上 哲也, 勝島 慎二	消化器　消化管疾患の診療 当健診センターにおける上部消化管内視鏡検査で発見された胃癌症例の検討	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9-10
研究会	田上 哲也	内分泌・代謝障害	第3回サリドマイド胎芽症研究会	東京	2019.2.9	

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文総説・著書（筆頭著者）	田上 哲也		2017 Guide for the Management of Thalidomide Embryopathy			22-23	日ノ下 文彦	医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業	2018
英文総説・著書（筆頭著者）	島 伸子、前川 高天		2017 Guide for the Management of Thalidomide Embryopathy			66-67	日ノ下 文彦	医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業	2018
和文総説・著書（筆頭著者）	田上 哲也、島 伸子、前川 高天	（独）国立病院機構京都医療センターにおける日帰り人間ドック、健康診断	サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の把握及び支援基盤の構築　平成30年度総括・分担研究報告書			in press	日ノ下 文彦	医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業	2018